

市内の生産現場でICTを活用した実証実験を実施します ～観光いちご園に「eセンシング For アグリ」を導入～

千葉市では、スマート農業を推進するため、東日本電信電話株式会社（以下NTT東日本）から提供を受けた「eセンシング For アグリ」を観光いちご園に導入し、ICTを活用した栽培環境測定システムの実証実験を実施しますので、お知らせします。

1 目的

生産現場における栽培環境測定データの収集・蓄積・モニタリングを行い、実用性を検証するとともに、熟練農家のデータを蓄積し、栽培環境管理のノウハウを新規就農者等へ提供することで、生産性の向上や省力化を図る。

2 経緯

- (1) NTT東日本と協定を締結し農政センターで実証実験をすすめるなか、生産現場での実証について提案があった。
- (2) 生産者に導入を働きかけたところ、緑区の観光いちご園から実施希望があり、実証実験を行うこととなった。

3 実証実験について

(1) 内容

測定データ（温度、湿度、照度）を収集し、クラウドシステムに蓄積の上、生産者及び市のスマートフォンやパソコンへ通知する。

(2) 設置場所

「フルーツランドとけ観光いちご園 エアト・ベレー」（緑区大高町26-34）
いちご栽培温室1棟

【URL】 <http://www.chibacity-ta.or.jp/spots/e-atobeele>

(3) 実証実験期間

平成31年2月14日（木）～5月31日（金）

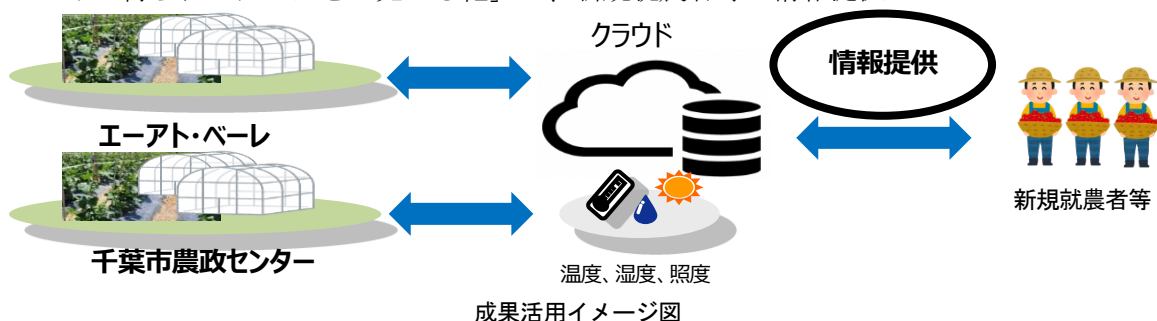
4 成果の活用

(1) 実験中

- ア 測定データのモニタリングにより、栽培環境を把握、適正管理に寄与
- イ 測定値の異常時に警報メールが送信され、栽培管理におけるリスクを軽減

(2) 実験後

- ア 蓄積されたデータを振り返り、次期作の栽培管理に活用
- イ 得られたデータを「見える化」し、新規就農者等に情報提供



5 お問い合わせ先

(1) 実証実験について

千葉県経済農政局農政部農政センター農業生産振興課

電話043-228-6276

(2) 「e センシング For アグリ」について

NTT東日本 千葉事業部 広報担当 落合・木島・鈴木

電話043-274-2129 MAIL : kouhou-chiba-gm@east.ntt.co.jp

<参考>

1 「e センシング For アグリ」とは

(1) 概要

「e センシング For アグリ」とは、電源不要のセンサーと無線通信機器を圃場に設置。「温度」・「湿度」・「照度」などのセンシングデータをNTT東日本が提供するオンラインストレージサービス「フレッツ・あずけ〜る」に自動収集し、スマートフォンアプリやPC等を用いて圃場環境を“見える化”するソリューションである。収集したセンシングデータを活用し、農業の生産性向上をサポートする。

(2) 特長

- ・圃場のセンサーと無線通信用送信機の電源が不要
- ・センシングデータ送信用モバイル回線が不要
- ・センシングデータのリアルタイムデータ表示、警報メールの送信

2 千葉市との協定の締結について

(1) 協定締結先

東日本電信電話株式会社 千葉事業部長 いけだ けい 池田 敬

(2) 締結日

2018年1月4日（木）

(3) 締結期間

2018年1月4日から2019年6月30日まで

(4) 主な内容

- ア 市農政センター及び生産者圃場への「e センシング For アグリ」の無償提供
- イ 実証実験で得られた栽培環境データの市内生産者への情報提供
- ウ NTT東日本が開催する生産者や関係者などを対象とした現地見学会への協力など

3 その他の取り組み実績

栽培環境測定システムを活用した実証実験は、ほかに2018年10月にPSソリューションズ株式会社と協定を締結し、携帯電話回線を利用した「e-kakashi」の提供（無償）を受け、現在、農政センター内イチゴ栽培温室及びトマト栽培温室で温湿度、日射量、地温、土壌水分などのデータを自動収集する実証実験を実施中

（期間 2018年10月19日から2019年7月31日まで）